

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

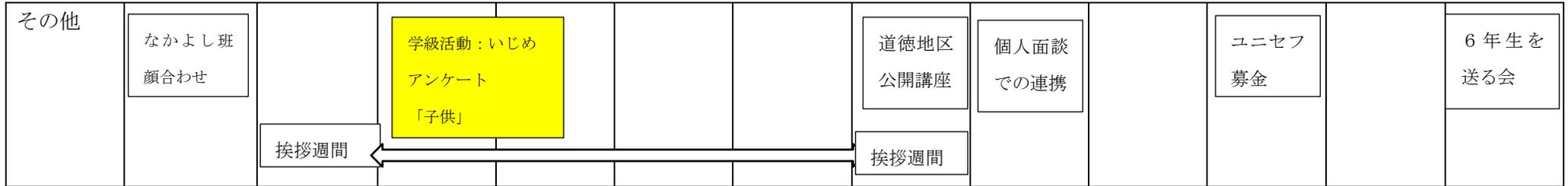
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	初めての出会いの中で互いに自己紹介をしあい児童相互の関わりを深めていく。			友だち同士のよいところをお互いに紹介しあう指導						他の人の大切さを認めることを中心にした指導（いじめに関して）		
各教科	「がっこうたんけんをしよう」(生活科)	はみがきポスターをつくろう(図画工作)	「水とともにだちになろう」(体育)						「あそび名人になろう」(生活科・「高齢者」)	「手紙を書こう」(国語科・「高齢者」)		
	あさがおをそだてよう。(生活科)								「もうすぐ2年生」(生活科)			
	みつけてはなそう、たのしくきこう(国語)	みんなにはなそう(国語)				なつのおもいでをはなそう(国語)			「もうすぐ2年生」(図画工作科)			
	「こうえんたんけんをしよう」(生活科)											
道徳	「たのしいがっこう」(愛校心)	「いつでもどこでも」(礼儀)	「がっこうのようむしゅじきん」(尊敬・感謝)			「ひつじかいのいたずら」(正直・誠実・明朗)		「いただきます」(生命尊重)	「ぼくにできること」(思いやり・親切)		「あかちゃんがうまれるよ」(生命尊重)	

令和6年度 江戸川区立下鎌田小学校 人権教育年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	学級の子どもたちのよいところを紹介し、教室に掲示する・子供同士のコミュニケーション能力を育てる。					友だち同士のよいところをお互いに紹介しあい認め合う。 (いじめに関して) 親とのコミュニケーションを深める。					一人ひとりの個性を認め励ましあい高めあい、自分らしさを大切にさせる。		
各教科	「2年生になってやってみたいこと」を紹介しあう。 (国語)	「野菜を育てよう ミニトマト・落花生・ピーマン・さつまいも」(生活)		水遊び(体育)		生き物仲よし大作戦(生活)		「実りの秋を楽しもう」(生活)	(算数) 九九が唱えられるようになった喜びを知る。	(算数) 九九が唱えられるようになった喜びを知る。	おもちゃ大会を開こう(国語) ↓ 1年生に作り方を教えよう(国語・生活)	一人一人が保護者へ取材する(生活)	2年生でできるようになったことを伝えよう(国語)
		運動会の表現活動「1年生と仲良く踊ろう」(体育)						(算数) かけ算九九を知り学びあおう。				「あしたへジャンプ」大きくなった自分を発表しよう。(生活)	
道徳	思いやり・公德心	自立・挨拶・家族愛	安全な生活			規則・友情 信頼・協力	公德心・動植物愛護・自然愛護(生活科見学に向けて) 明朗・努力		家族愛 感謝	生命の尊さ	誠実 郷土愛	勤労	
特別活動	1年生を迎える会プレゼントと挨拶	ことばのオアシス	友達との関わり方			クラスで困っていることはないか話し合う	自分の思いを相手に伝える			冬の遊びを体験	6年生に感謝の気持ちを表そう		



「 」 = 個別的な視点からの取組 (「 」内は人権課題) ↔ = 関連的な指導 = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導

令和6年度 江戸川区立下鎌田小学校 人権教育年間指導計画（第3学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導 児童相互の関係を把握する。				他の人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認めることを中心とした指導			
各教科	国語「よく聞いて自己紹介」自分の身近なことを工夫して、スピーチする。	理科「チョウを育てよう」「こん虫をしらべよう」身近な昆虫の成長の決まりや体のつくりを調べ、生命尊重の心を持つ。				理科「植物の育ち方」オクラやホウセンカの成長の過程や体のつくりを調べ、生命尊重の心を持つ。					社会「くらしのうつりかわり」昔の生活や地域の年中行事を知ることを通して高齢者に対して、尊敬の気持ちを持つ。	
						国語「ちいちゃんのかげおくり」思いやりの気持ちを読み取る。		総合的な学習の時間 「人にやさしい町づくり」共生社会。				
	外国語活動 年間を通して 外国の文化に親しむ。											
道徳	礼儀：誰に対しても真心を持って接しようとする態度を育てる。	生命尊重：命を大切にしようとする心情を育てる。	信頼・友情：友だちと互いに理解し、信頼し、助け合おうとする心情を養	礼儀：感謝の気持ちを真心で表すように努める態度を育てる。		尊敬・感謝：高齢者の方に、尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。	思いやり・親切：誰に対しても親切にしようとする態度を育て	正直・誠実・明朗：誠実な心を持ち、明るい生活をしようとする態度を養う。			思いやり・親切：真に相手のことを思いやり、親切にしようとすることの困難さを知る。	

令和6年度 江戸川区立下鎌田小学校 人権教育年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

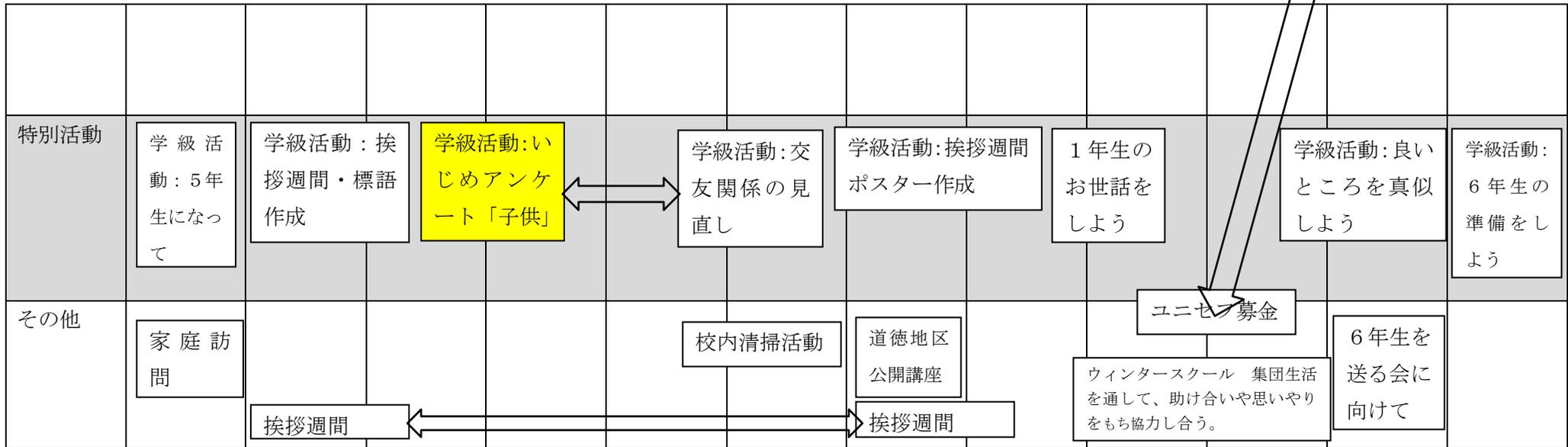
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学年・学級目標に人権教育のねらいを位置づける		〈 自分の大切さを認めることを中心とした指導 〉		〈 他の方の大切さを認めることを中心とした指導 〉		〈 互いの大切さを認めることを中心とした指導 〉		児童相互で友達のよい行いを紹介し合い、教室に掲示する。			
	児童相互の関係を把握する		教師が児童のよい行いを教室に掲示する									
各教科	国語「くらべて発見しよう」「心のスケッチ」 図工「歯磨きポスター」 国語「見学したことを報告しよう」		国語「ぞろぞろ」 音楽「おくりもの」		国語「クラスで話し合おう」	社会「郷土の発展につくす」	国語「読書発表会をしよう」			保健「育ちゆく体とわたし」		
	外国語活動 年間を通して 外国の文化に親しむ。											
道徳	思いやり・親切（いじめ対策）	愛国心	生命尊重	信頼・友情（いじめ対策）		信頼・友情（いじめ対策）	礼儀	尊敬・感謝		生命尊重	思いやり・親切	
総合的な学習の時間		地球を守ろう 節水・ゴミの減量大作戦	ネットモラル	ネットモラル						二分の一成人式しよう		6年生への感謝
特別活動	学級活動「4年生になって」		相手をほめる言葉、傷つける言葉							ユニセフ募金		6年生を送る会
	縦割り班活動 なかよし班遊び・異学年との交流を通して思いやりの気持ちを養う。											
その他												

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ = 関連的な指導 ◻ = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級の子どもたちのよいところを紹介し、教室に掲示				友だち同士のよいところをお互いに紹介しあう指導				他の人の大切さを認めることを中心にした指導			
各教科	保健体育：けがの予防（学校や地域社会でのけがを防ごう）	理科：生命のつながり（3）たんじょうのふしぎ・人のたんじょう		社会科：わたしたちの生活と工業生産 社会科見学に向けて		社会科：情報と社会「インターネットによる人権侵害」		家庭科：環境を考え、家庭生活をくふうしよう				
英語活動：年間を通し外国人と英語で簡単な日常会話を行う。												
道徳	礼儀：すれちがい	生命尊重：命のアサガオ	規則：ふくらんだリュックサック	生命尊重：飼育	「消えたマイケル」（公正・公平・正義）			生命尊重：稲むらの火で命を救え「災害に伴う人権侵害」	国際理解と親善：ネパールで学んだこと「外国人」			
総合的な学習の時間	米づくり・農家の人々の仕事の理解（総合）											



「 」 = 個別的な視点からの取組 (「 」内は人権課題) ↔ = 関連的な指導 ≡ = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	<p>最高学年としての自覚を持ち、様々な活動に責任をもって取り組む。</p>			<p>他の人の大切さを認めること、互いに思いやり、助け合う</p>					<p>ボランティアについて考え、体験し、様々な場面で思いやりのある行動ができるようにする。</p>			
各教科	<p>保健「病気の予防」HIV観戦について知る。</p>			<p>社会「江戸幕府と政治の安定」身分の始まりを知る。「同和」</p>		<p>社会「明治の国づくりを進めた人々」同和問題を理解する。「同和」</p>		<p>社会「世界に歩みだした日本」差別の解消を求める運動がおこったことを理解する。「同和・女性差別・アイヌの人々」</p>		<p>社会「私たちのくらしと日本国憲法」 基本的人権の尊重を理解する。</p>		
	<p>外国語活動 年間を通して ALT と英語で簡単な日常会話を行う。</p>											
道徳	<p>いじめ発見・対応、いじめ防止のプログラムを活用し、いじめに対する意識を高める。</p>			<p>生命尊重 ：「受け継がれる命」</p>		<p>思いやり 思いやりをもち、相手の立場に立って考える心をもつ。</p>		<p>公平・公正 誰に対しても公正・公平に接する心をもつ。</p>		<p>公平・公正 偏見や差別のない社会を目指す。</p>		
				<p>国語「ぼくの世界・きみの世界」相互交流によって相互理解が深まることを理解する。</p>						<p>国語「君へ」 いのちについて考えを深める。</p>		

総合的な学習の時間	<p>総合的な学習の時間「自分の生きる道」 様々な職業があることを知り、体験を通してはたらあくことについて考える。職業への差別をもたないようにする。</p>									
特別活動	<p>なかよし班活動 なかよし遊び（月1回）異学年との交流を通して、上級生としての自覚と思いやりの気持ちを養う。</p>									
その他	<p>学級活動「学級目標を立てよう」思いやりをもち、助け合える学級作りを目指す</p>	あいさつ運動	あいさつ運動	あいさつ運動	あいさつ運動	あいさつ運動	あいさつ運動	あいさつ運動	あいさつ運動	あいさつ運動
その他	<p><保護者会等>各学期末1回 家庭との連携を図り、児童一人一人の実態を把握する。</p>	<p>日光林間学校を作り上げよう</p>	<p>「道徳授業公開」地域と学校が一体となって道徳教育を共に考える。</p>	<p><個人面談>情報交換を通して保護者との共通理解を深める。</p>	<p>卒業式に向けて</p>					

「 」=個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導